

番号	患者名	5月	施術前の状態	施術後の状態	結果
86	S・A	15	右膝関節の他動関節運動の引っ掛かり。	自覚には乏しいが、他動での可動性は明らかに向上。	○
		22	自動運動での足上げ鈍重感と他覚的には可動域制限。	鈍重感減少と可動域改善を目視確認出来た。	○
		29	前週より体調不良で右下肢の動作不具合大きい。	立ち上がり動作と大腿挙上の軽減が自覚・他覚ともにあるが少ない。	△
86	T・K	9	両膝関節の影響も考えられるが、立位時伸展制限ややあり。疼痛無	立位における股関節伸展が見られ、姿勢が良くなる。本人も少し自覚	○
		16	前回の施術で改善した立位での骨盤位置を維持されている模様。	施術前が既に良い状態であり、施術後もそのままの状態。	△
		23	前日何かの加減で膝を痛め、左内側痛あり。	立位、足踏みでの痛みはほぼ解消。違和感が若干残る。	○
	仙骨調整あり	26	前回残った違和感が少しある。	違和感がほぼ解消。姿勢も前週の状態にまで戻る。	○
	仙骨調整あり	30	姿勢:良いが若干骨盤後傾、膝関節:ほぼ完全進展に近く良い。	骨盤後傾が改善見られ姿勢はさらに良い。	○
73	T・T	9	腰部脊柱管狭窄症手術2回の影響もあり、常に股関節屈曲姿勢。	側臥位による施術実施。伸展が見られ、本人もかなり改善を自覚する	○
		16	休み		
		23	右腰部に疼痛あり。体幹はやや前傾強め。	体幹・骨盤が伸びた感じで姿勢が良くなった。	○

	仙骨調整あり	30	右腰痛が強く前傾姿勢。	姿勢は若干伸展。痛みはやや減少	△
86	Y・E	9	右股関節外転制限。膝関節伸展(パーキンソン病)	立ち上がり時の伸展は若干改善はあるものの、外転動作は変わらず	▲
		16	同上	左股関節の外転10°位改善。	△
		23	同上	立ち上がり時の伸展がかなり良くなり姿勢も改善	○
		30	同上	両膝関節の伸展改善。股関節の外転は変化なし。	△
88	Y・S	10	右股関節違和感。	他動的には可動域改善が見られた。自覚はあまりない。	△
		17	同上	立位での違和感軽減が多少自覚された。可動性・姿勢に改善若干有。	△
		24	同上	動作時の違和感を感じなくなったとのこと。見た目の変化はあまり無い	△
	仙骨調整あり	31	右股関節違和感と両下肢後側痺れ感。	姿勢が伸び違和感軽減し痺れ感大幅減	○
90	N・H	11	元々股関節は自覚無し。伸展での可動域制限あり。	施術自体が気持ち良いと反応。他動運動で引っ掛かり半減の手応え	△
		18	右股関節は屈曲伸展で引っ掛かりが見られた。	引っ掛かりの軽減は他動的にあり。自覚は無い。	△
	仙骨調整あり	25	一時あった強い疲労感が無くなり歩行が出来るようになったそうです	下肢と体幹の伸展は見られた。身体が軽いとの自覚あり。	△

91	S・H	12	変形性膝関節症の影響で股関節外旋状態と思われるため実施	仰臥位・側臥位とも股関節施術を行うも、あまり変化なし。	▲
		19	内転で左側に引っ掛かりあり。	他動的には若干の改善が見られた。自覚はあまりない。	△
	仙骨調整あり	26	左股関節の外転変位と引っ掛かりあり。	健側とほぼ同位置になる。仰臥位で確認	○
	仙骨調整あり	6月2日	同上	左下肢全体の位置が外から中心に近づく。引っ掛かり半減。自覚は	○
80	A・T	12	股関節の可動域制限。特に内側。	他覚的には改善が見られた。本人の自覚はない。	△
		19	臥床で左股関節屈曲の重さを自覚。	軽減を少し自覚。視覚的にも可動域改善。	○
		26	左股関節の屈曲と外転制限あり。	他覚的には改善が見られた。本人の自覚はない。	△
		6月2日	同上、膝伸展制限あり。	屈曲制限と膝伸展制限がかなり改善。	○
90	H・S	6月2日	前日、左大腿内側に疝痛があったとのことで急遽施術対象とする。	股関節・足関節・仙骨調整のPT施術のみで左股関節の異常緊張が	◎

膝関節より股関節は施術の結果が出にくい、確認しにくい傾向にあるように思いましたが、慣れるに従い徐々に結果が伴ってきたと思います。部位から考えても体幹に及ぼす影響は膝関節より大きいと感じます。習熟には少し時間を要すると思います。仙骨調整は更に難易度は高いです。